気密・断熱折りたたみはしご付き小屋裏点検口

日本住環境株式会社

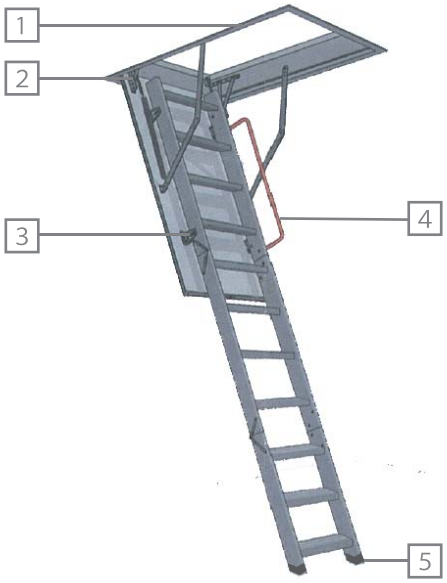
ロフトラダー 2800　Optistep　施工説明書

このたびは、弊社製品をご採用いただき、誠にありがとうございます。
施工の際は、この施工説明書をよく読んで施工して下さい。
取扱説明書は、必ず施主様にお渡し下さい。

施工上のご注意　必ずお守り下さい

・施工は、必ず 2 人以上で行って下さい。
・施工の際には説明書をよくお読みになり、説明書通りの取付け施工を行ってください。間違った手順で施工されますと性能が著しく低下する可能性があります。
・この製品は、気密断熱型折りたたみはしご付き小屋裏点検口です。この設計目的使用目的以外の取付け施工をしないで下さい。
・間違った保管、施工、改造、分解等をしないで下さい。

各部名称及び同梱品



1 木枠
2 ヒンジ
3 ブラケット
4 アーム
5 足キャップ

【注油ポイント】

同梱品をご確認下さい。

☐ 開閉棒 (1 本)

☐ 取付用ブラケット LXK

アングル材 (4 本)

軸棒 (4 本)

ナット (8 個)

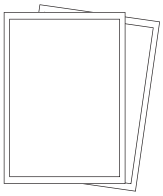
ビス (小)(24 本)

コーナー金物 (4 個)

☐ ライニング LXL-PVC

長部材 (2 本)
コーナーピース (4 個)
短部材 (吊元側)(1 本)
短部材 (ロック掛け金側)(1 本)

☐ その他


取扱・施工説明書 (各 1 枚)

コーススレッドビス袋入り
(φ4.8×75mm×10 本)

使用工具 (現地にてご用意下さい)

のこぎり

モンキーレンチ

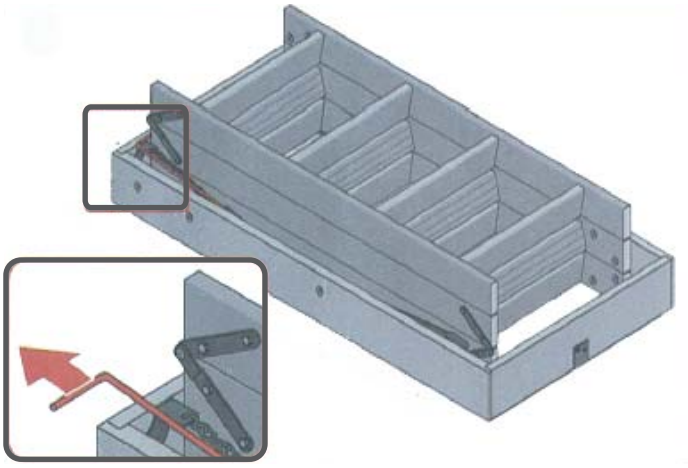
ソケットレンチ

プラスドライバー
(手回し)

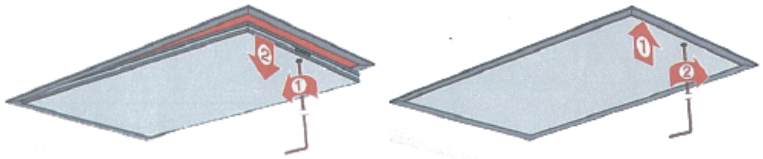
施工前の準備

■開閉棒を取り出す

施工前に開閉棒を取り出して下さい。

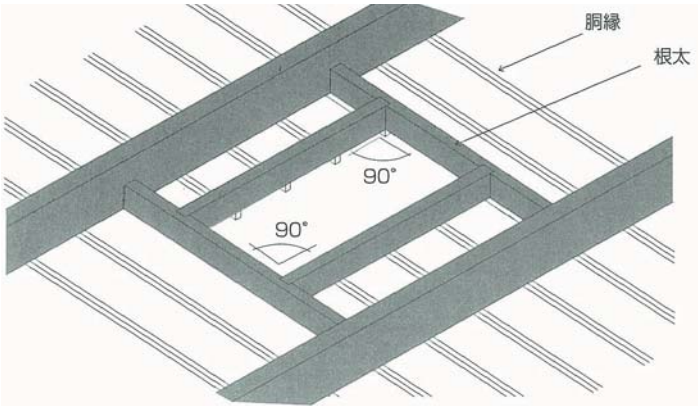


【開閉方法】
開閉棒をロック穴に差し込み左に回すと開き、右に回すと閉まります。



■開口を開ける

開口を開け、開口部に根太を取り付けて下さい。
(必要開口寸法は 600mm×1200mm)



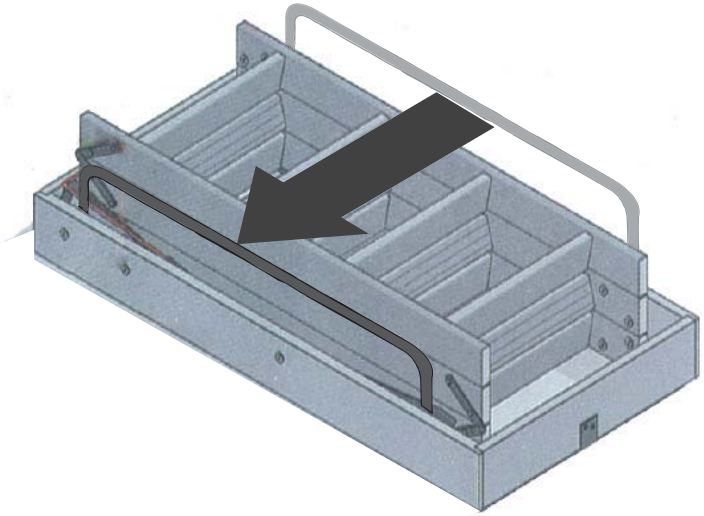
【重要】
※１根太の各コーナーは必ず 90° にして下さい。
※２根太背は、180mm ～ 300mm までのものをご使用下さい。
※３根太は十分に強度のある躯体に取り付けて下さい。
※４根太は必ず水平になるように取り付けて下さい。

■ロフトラダー本体を小屋裏に上げる

開口後、ロフトラダー本体を小屋裏に上げます。

■手すり取付け位置の交換

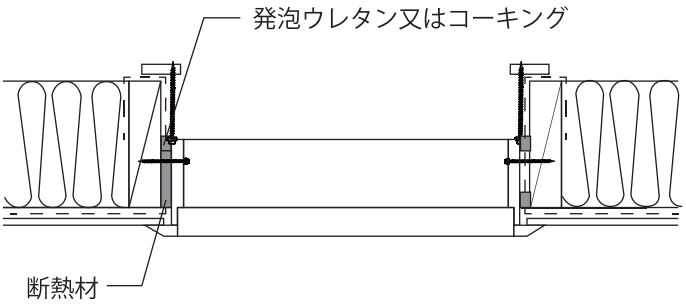
出荷段階では、手すりは向かって右側に取付けてありますが、左側に付け替えることも可能です。
※危険ですので小屋裏に上げる前に、蓋を開けて作業を行って下さい。



①ブラケットについている手すりのボルトを外し手すりを外します。
②手すりを外したらボルトをはめ、締めて下さい。
③向かって左側のボルトを外し、手すりを合わせボルトを締めて下さい。

■気密処理

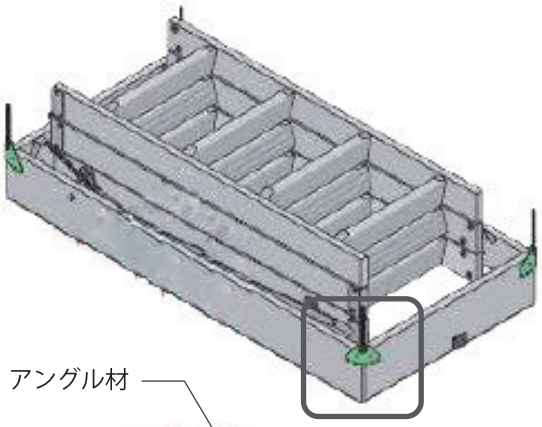
適切な処理を行い、気密を確保して下さい。



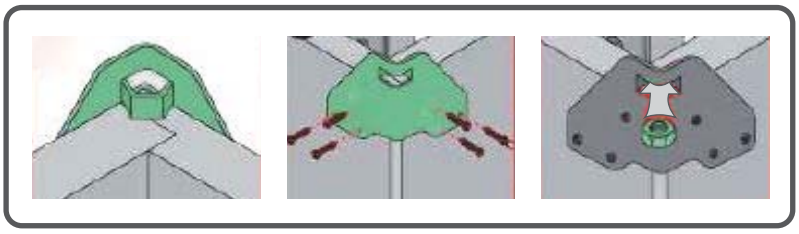
①根太とロフトラダー本体木枠間に断熱欠損の防止とバックアップ材として室外側から断熱材をつめ込んで下さい。
②小屋裏方向から発泡ウレタンもしくはコーキング等による気密処理を行って下さい。
③ライニング LXT-PVC を取り付けて下さい。

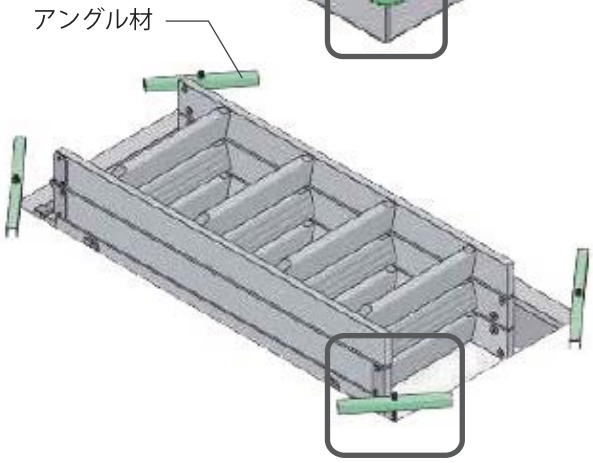
施工手順

1．取付け用ブラケット LXK の取付け

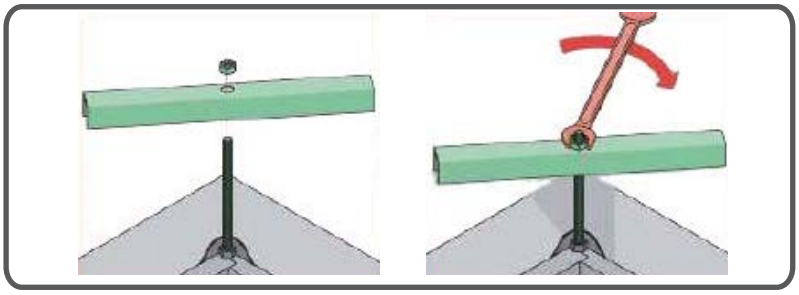


①コーナー金物をロフトラダー本体木枠の角部（4ヶ所）にビス（小）を使い取付けて下さい。
②ナットをコーナー金物に差し込んで下さい。
③軸棒をコーナー金物に通し、ナットに取付けて下さい。

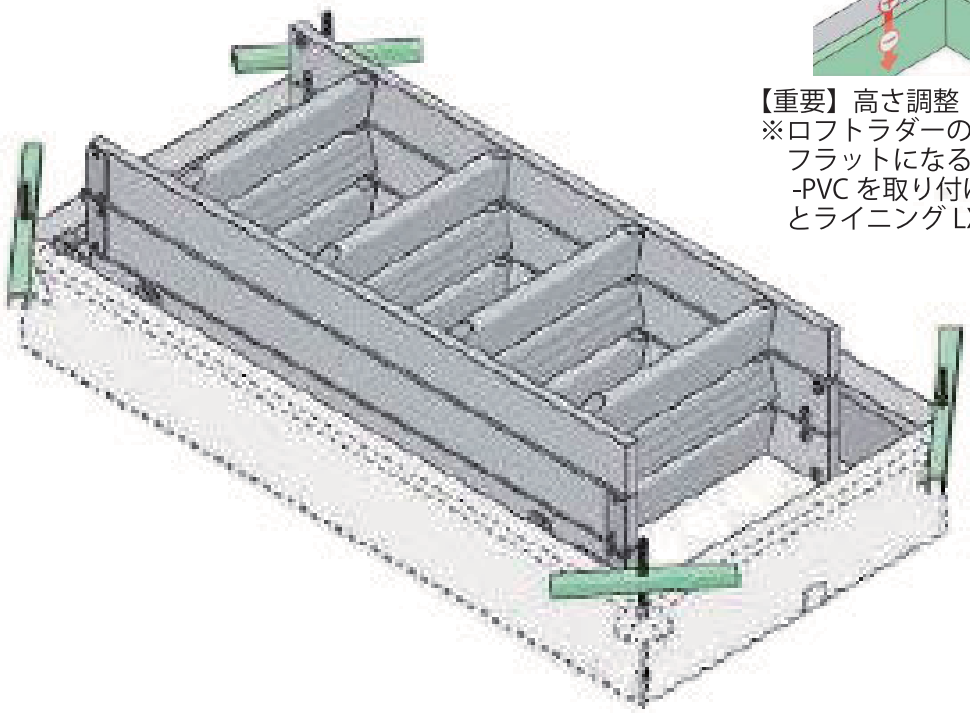


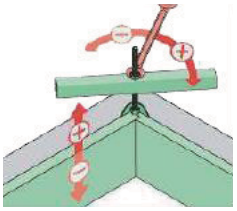


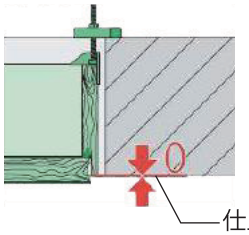
④アングル材を軸棒に通し、ナットを上から取付けて下さい。



2．ロフトラダーの取付け





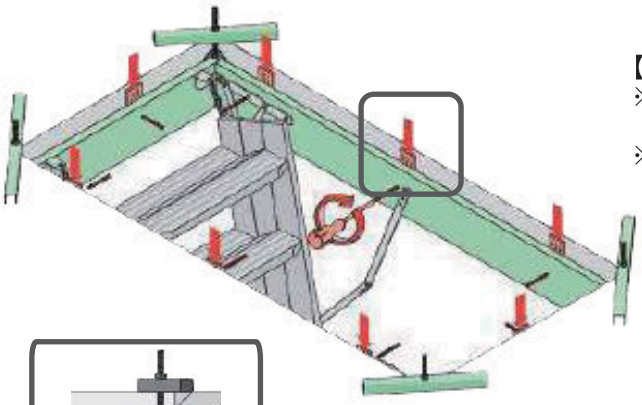


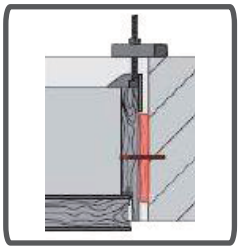
【重要】高さ調整
※ロフトラダーの本体木枠下端と天井仕上げ面とがフラットになるよう設置すると、ライニング LXL-PVC を取り付けたときに、ロフトラダー天井蓋とライニング LXL-PVC の仕上げ面がそろいます。

①開口部にロフトラダーを落とし込み、取付用ブラケットのアングル材を開口部のコーナーに斜め掛けし、ロフトラダーが落下しないようにして下さい。
②ナットとアングル材で高さを調整して下さい。

次ページに続く

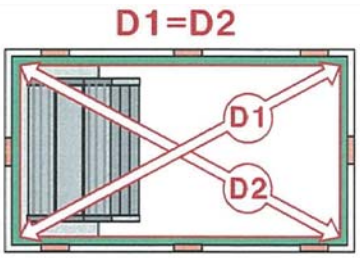
2．ロフトラダーの取付け (続き)

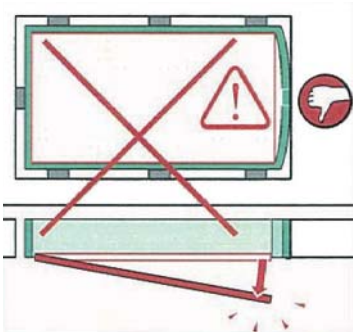




※長辺片側３ヶ所ずつ (計６ヶ所)、
短辺片側１ヶ所ずつ (計２ヶ所)
留め付け

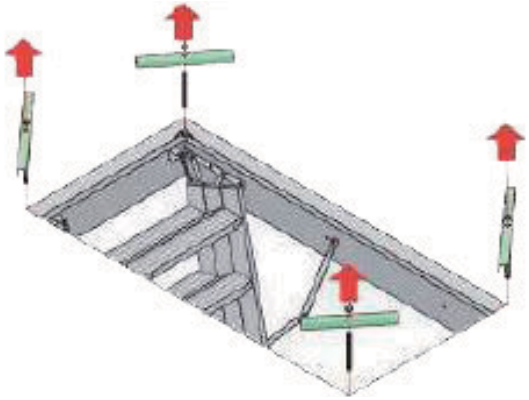
【重要】
※１電動ドライバー等を使うと、ロフトラダーの枠が変形する恐れがありますので、手回しドライバーでの施工をお願いします。
※２枠の対角線の長さが必ず等しくなるよう施工して下さい。
(本体寸法 580mm×1186mm)

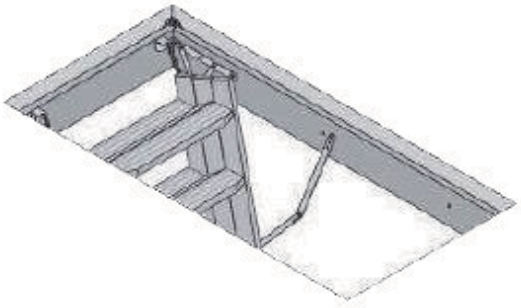




③合板等をロフトラダーの枠と開口の間に挟み、開口部とロフトラダー本体とのクリアランス振り分け調整を行い、付属のビス (コーススレッドφ4.8mm×L75mm) で固定して下さい。

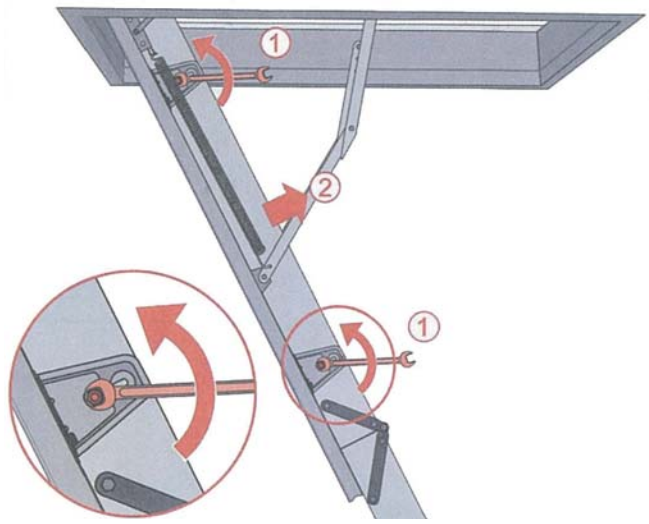
3．アングル材と軸棒を外す

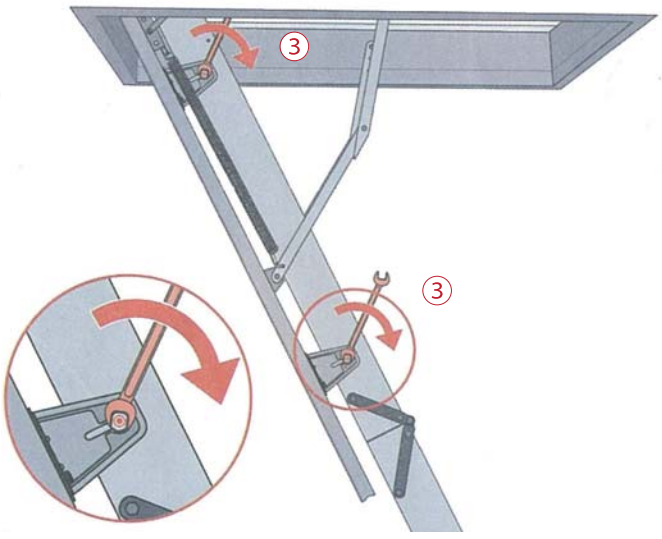




①アングル材と軸棒を外して下さい。本体の取付けはこれで完了です。

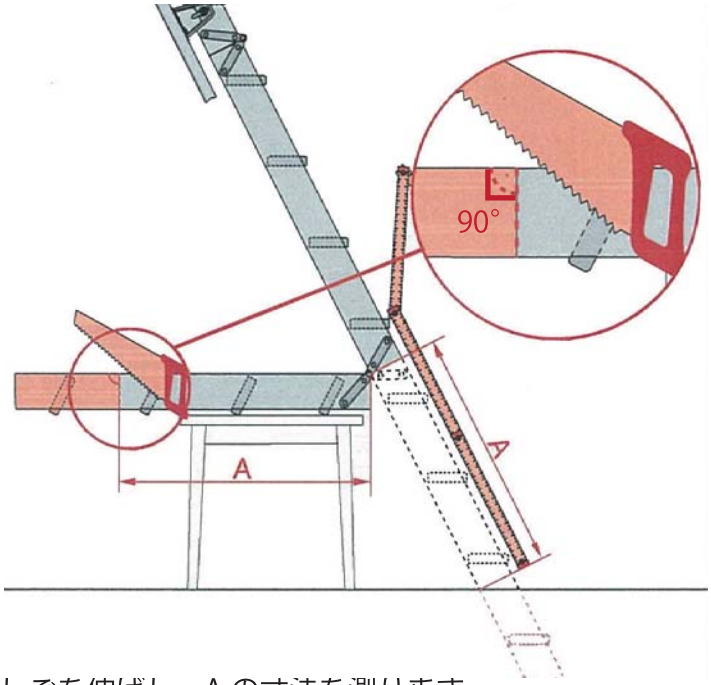
4．はしごの調整

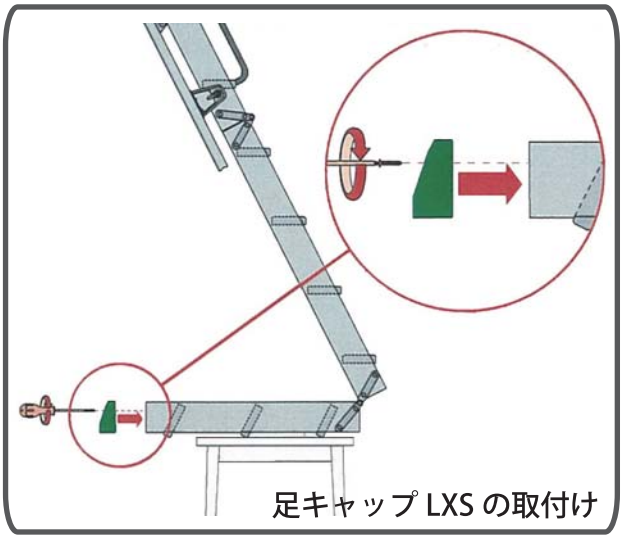




①ブラケットのボルトを緩めます。
②はしごを天井蓋から浮かせます (踏板の踏込みスペースを広げ安全性を高めます)。
③ブラケットのボルトを締めて下さい。

5．はしごのカット・長さ調整

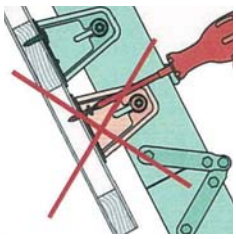




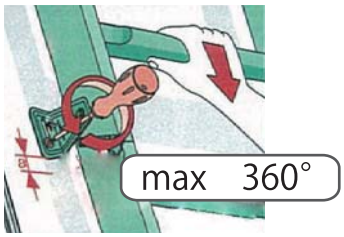
①はしごを伸ばし、A の寸法を測ります。
②足キャップ LXS を外し、はしごの床設置面側を 90°にカットして下さい。
③足キャップ LXS を付属のビスで取付けます。

【重要】
設置の微調整はブラケットにて行います。その際、次の点に注意して施工して下さい。

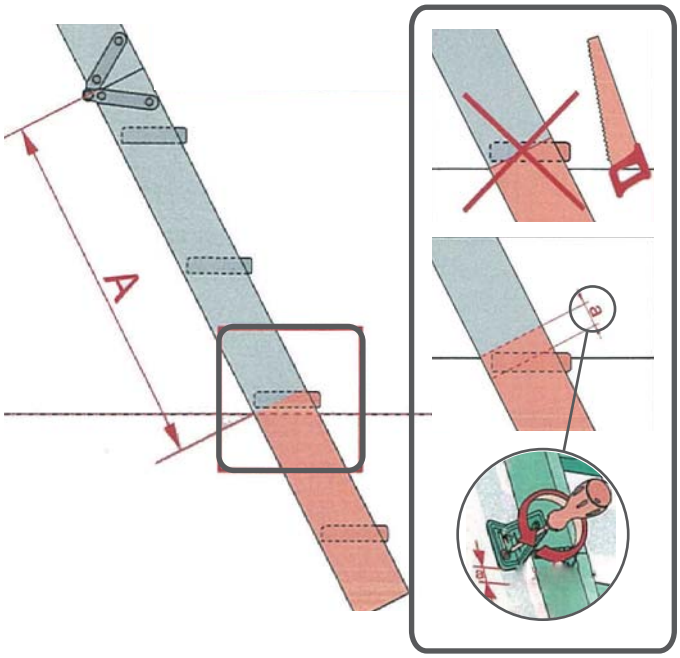
※１下地の入っていない部分にビスを打ち換えないで下さい。



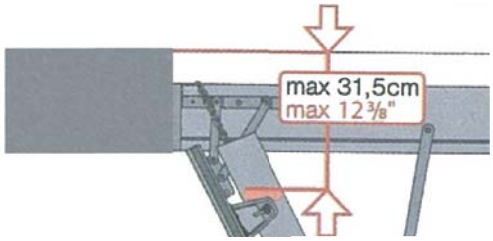
※２ブラケットのビスは 360°以上回さないで下さい。

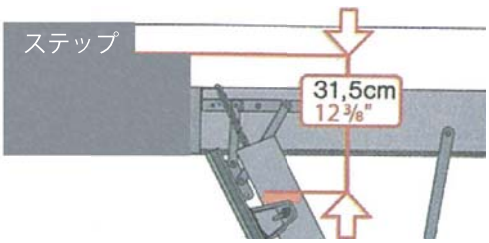


※３はしごの踏板部分とカット位置が干渉する場合は、踏板部分をカットせず、ブラケットのビスを緩め、はしごの位置をずらして調整して下さい。

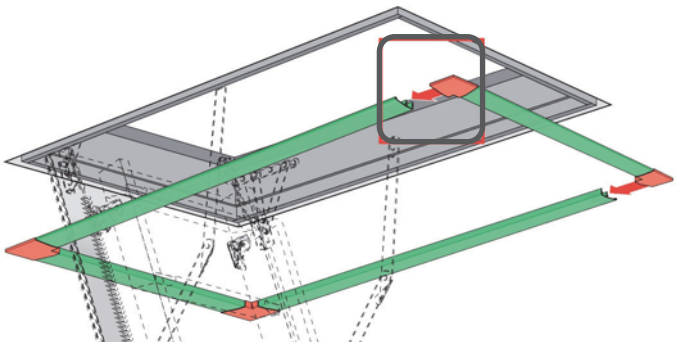


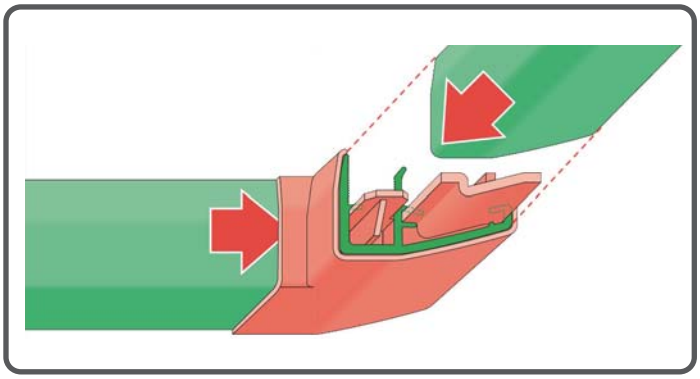
※４蹴上寸法は、はしごの最上段から最大 31.5cm です。31.5cm を超える際は、一段ステップを設けて下さい。



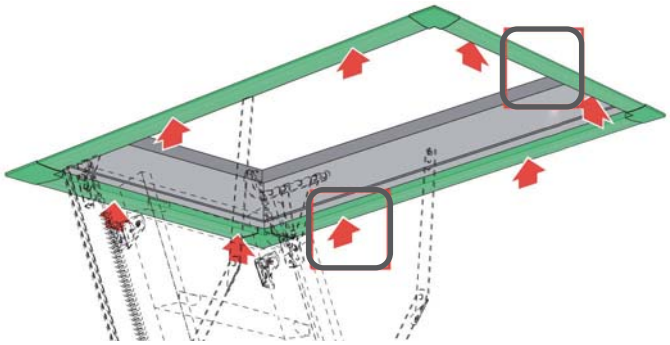


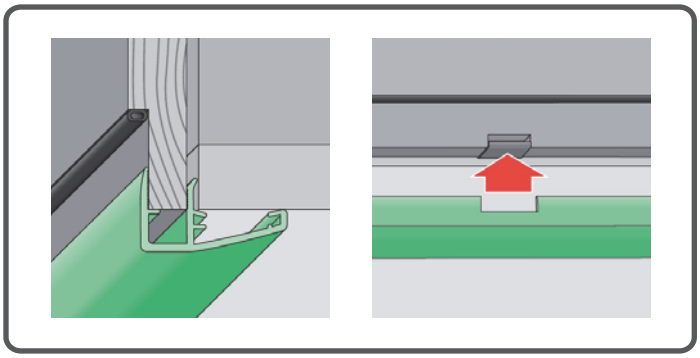
6．ライニング LXL-PVC の取付け



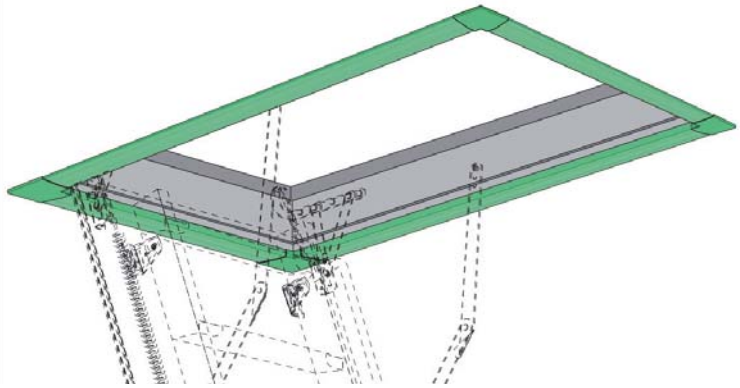


①コーナーピースに長部材、短部材をそれぞれ取付け、ライニング LXL-PVC を組み立てて下さい。





②ライニング LXL-PVC をロフトラダー本体の、吊元側からはめ込みます。
はめ込みは、軽く手でたたく程度で入ります。
※ロック掛け金側の短部材と、吊元側の短部材を間違えないようにして下さい。
他の３辺も同様にはめ込んでください。



7．最後に

以上で施工完了です。大変、ご苦労様でした。
●もう一度、ナットの緩み、閉め忘れ等が無いか、ご確認お願いします。
●P.2 の気密処理の手順の通り適切な処理を行って下さい。